

梓川小学校だより

平成29年11月27日(月)

# あずさっ子

29年度 第7号 発行責任者 校長 宮坂 俊之

**学校教育目標**  
 「梓川の大地に根ざして  
 豊かに自立する子どもの育成」

あずさっ子    かしこく  
                   なかよく  
                   たくましく

## 美しい響き 元気な歌声 感動の時間

11月2日(木)、梓川小学校体育館で校内音楽会が行われました。2学期に入ってから、音楽のねらいや学年の願いに合った選曲を行い、少しずつ練習を積み重ねてきました。音楽会特別時間割に入ってから2週間、集中して練習してきた成果を子どもたちは見事に発表してくれました。今年は、1年生から6年生まで、すべての学年で鍵盤ハーモニカを使って演奏していました。それぞれの成長段階で変っていく音色も楽しむことができました。また、学年全員で声を合わせて響きを作り上げ、学年のまとまりが感じられる歌声だったと思います。歌で始まり歌で終わる音楽会、音楽会の余韻にいつまでも浸っていたい、そんな気持ちになりました。

## 音楽会の様子

### 【第1部】

#### <3年生> 右写真

1学期から始めたリコーダー。たった4ヶ月でも上手になりました。歯切れよくきれいに聞こえる音で合わせた「よるこびの歌」。テンポを合わせ、楽器ごとの音量に気をつけて音色を合わせた「君の瞳に恋してる」。どちらも丁寧に演奏していました。

合唱「たからもの」では、普段の生活から、頭声発声を意識して練習してきた3年生。言葉を大切にしながら、歌声を響かせていました。



#### <1年生> オペレッタ

4人かわいいおじいさんが場面ごとに交代で登場。動きに合わせて楽器を鳴らしたり元気な声で歌ったりしていました。おむすびころりんの情景が浮かんでくるような仕掛けがあり、楽しんで演奏している様子が見られました。



#### <金管バンド>

代表児童が「恋ダンス」を踊りながら演奏してくれた「恋」。「35億!」の決めゼリふで人気となった曲「ダーティ・ワーク」。曲に合わせてパネルを上げる度に、会場から歓声が上がりました。流行の曲と切れのよい演奏で盛り上げてくれました。堂々と演奏する姿には、毎朝の練習の成果が発揮されていました。



### 【第2部】

#### <2年 音楽物語> 左写真

国語で学習した「スイミー」に挑戦しました。後ろの人までセリフが届くようにはっきりと発音することやリトルマーメイドの木琴や鉄琴の難しいリズムを合わせること等、たくさんのごとをがんばっていました。場面ごとの大道具も見応えがあり、大きな魚から仲間を守る小さな魚の兄弟達の絆を、歌と呼びかけ、合奏で見事に表現してくれました。

#### <5年生>

アップテンポで迫力のある「ミッションインポッシブル」。心地よい風の流れるような優しく美しい「風の丘」。タイミングを合わせるのが難しい曲ですが、本番で、息の合った演奏を聴かせてくれました。

合唱「今日から明日へ」では、元気出して笑い飛ばして～♪のところから続く高音のサビ部分を、音程と声量を保ってきれいに響かせていました。



## 【第3部】

### <4年生>

合唱「U&I」では、本来のテンポよりゆっくりと、言葉を大切に歌っていました。練習の中でみんなで考え合い決めた歌い方（音の強弱）を、歌詞の内容に合わせて見事に表現していました。

指揮者に集中して1つずつの音を丁寧に演奏していた「聖者の行進」。悠々とした行進の様子が浮かんでくるようでした。運動会のダンスでも挑戦した曲「やってみよう」。教室からは毎日、CDに合わせた速いテンポで練習している音が聞こえてきました。体でリズムを刻みながらテンポを合わせて演奏していました。



### <6年生> 写真上

迫力のあるしかも整った音で始まった「ファラドール」最後まで音がそろっていました。梓川小学校アレンジでスタートした「彼こそが海賊」。耳慣れたフレーズはやっぱりかっこよく、聴いている子の中には体でリズムをとっている子もいました。

アカペラ三部合唱の「星の世界」は、歌い出し部分、輝く夜空の～♪の美しさ。二部合唱の「変わらないもの」は、最高学年らしく、歌詞の意味に自分を重ね、友だちや家族への思いが詰まったすてきな合唱でした。素晴らしい合奏・合唱で締めくくってくれました。

## 秋の人権教育旬間

11月6日（月）から18日（土）まで人権教育旬間が設定され、様々な取り組みを行いました。

### 11月6日の校長講話から 「目に見えないものを想像する心の目を育てよう」

校長講話では、金子みすずさんの「星とタンポポ」という詩を紹介しました。金子さんは「わたしと小鳥と鈴と」という詩で有名な方ですが、今回は前述の詩を使わせてもらいました。一学期から、学校教育目標の「なかよく」というのを大切に考え、「あいさつをしよう」「人の話をしっかり聞こう」と伝えてきましたが、今回は目に見えない人の気持ちを想像する「心の目を育てよう」ということで話をしました。

人の気持ちを想像するということは、なかなか難しいことです。ご家庭や地域でお子さんに関わる時も、「～してくれて、うれしかったよ」とか、「そんなことをすると、私は悲しいな」など、気持ちを言葉にして伝えるよう意識していただけるとありがたいです。

### 12月の主な予定

- 4日（月） 登校指導
- 5日（火） 中学校校長講話（6年）
- 6日（水） 町会子ども会
- 8日（金） P T A 常任委
- 11日（月） 児童会
- 13日（水） 保護者懇談会① 3時間下校
- 14日（木） 保護者懇談会② 3時間下校
- 15日（金） 保護者懇談会③ 3時間下校
- 17日（日） 金管まとめのコンサート
- 18日（月） 保護者懇談会④ 3時間下校
- 19日（火） 保護者懇談会⑤ 3時間下校
- 20日（水） 学期末清掃（～27日）
- 25日（月） 児童会
- 26日（火） あずさっ子まつり
- 27日（水） 2学期終業式 3時間授業
- 冬休み 12月28日～1月8日
- 1月9日（火） 始業式 4時間授業

### 富永房枝さん講演会

人権教育旬間が始まった6日、長野市から富永房枝さんをお招きし、講演会を行いました。富永さんは生後半年の高熱が原因で脳性小児麻痺になりました。両腕が使えない、言葉がスムーズに話せないなど、機能障害があります。でも、子どもたちの前でキーボードを足で弾いたり、足で描いた絵や書を披露してくれたりしました。また、目の前で実際に、色紙に「夢をかなえよう」と書いて見せてくれました。

今は、ヘルパーの助けも借りつつ、一人暮らしをしているそうです。「チャレンジです」とおっしゃっていました。そんな富永さんの生き方から、子どもたちもいろんな事を学ぶことができました。



右のカニの絵は、富永さんが足を使って描いたものです。